

山 ゆ り

5-6 月号 No355 2014 年 5 月 1 日

初号発行:1972 年 12 月 25 日

山ゆりの会(尾瀬の自然を守る山ゆりの会)

年会費 2000 円 (郵便口座 00230-2-42601)

〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西 2-25-16 草野正昭

Tel/Fax:045-364-6515 メール:VZM03024@nifty.com

URL : <http://homepage3.nifty.com/yamayuli/>



3 月山行

3 月 16 日 藤野の低山歩き

天気晴れ、参加者:8 名 大内 曾根
田村 和田 豊留 松田 大野 草野

高尾 8:04-8:21 藤野 8:50-園芸ラン
ドー 9:40 京塚山-10:15 一本松山-
11:20 金剛山-12:55 高倉山-13:30 秋
山橋-14:20 藤野駅(解散)

標高こそ 300~400m の低山だけれど、
全山歩きとおすと、十分歩きがいのある
山行だった。あの大雪は北斜面に少し残

る程度、金剛山山頂は風もなく、展望も
そこそこ良い、8 人には十分の広さ。最
後の高倉山からの下りは長ーい階段、そ
のあとの登山道は小さな沢をいくつか横
切るがかなり荒れている。最後の下りは、
大雪がまだかなり残っていて、慎重に下
る。芝田集落への道は、湖岸が崩れてい
て、かなりの雪あり、歩いた痕跡もなし。
秋山橋を渡るが、その先車道までの最後
の登りが、これまたおつりが来るほどの、
ロープ伝いの悪いのぼり、やっとの思い
で車道へ。

高倉山からの下りと最後の車道への道
を除いては、ピークごとに休憩ベンチが
用意されて、全体に快適なコースであっ
た。駅にあった周回コースのMAP が役
に立った。(K)

●里山にもそろそろ春が

前回、山を歩いたのは何時だったろ
う? 12 月の高尾山が最後だったから、
今日は 3 月振りの山行になる。朝の電
車には、春が待ちきれない様子の登山客
が沢山乗っていた。



芸術の街を謳っている藤野の道端には、あちらこちらに芸術作品らしきものが鎮座されている。これらを鑑賞しながら山道に入ると、所々に畑があって、取り終わった野菜が放置されていた。日陰には、まだ雪も残っているが、アイゼンの出番は無かった。緩やかな山並みに囲まれて、人家の少ない広大な景色が大きな青空と共に大いに心を癒してくれる。日射しは春めいているが、樹々はまだすっかり葉を落としていて、落ち葉を敷き詰めた褐色の登山道がどこまでも続いている。落ちたドングリが芽を出しているのが所々で見られた。檜、樅、楓、山桜等が、それぞれ独特の木肌を見せている。一見同じような灰色をした各種の樹々が斜面に広がっている姿もこの時期ならではの、風景画を観ている様だ。

鳥の囀りを聞きながら昼食中の頭上近くを、ポカポカ陽気に攣られたのか、3匹のタテハチョウが忙しく飛び交っているのを見ると、季節は春になっているんだなと強く感じられた。

4～500Mの里山歩きの割には結構ハードな登り降りが連続し、何ヵ所かの見晴し台での休憩が有り難かった。4座を縦走した後の急な上りには虎ロープが張ってあって、本日の最後を全員緊張して登り終えた。

9時から約5時間、今日はどの位の歩数を歩いたのだろうか？ 気温が高かったせいか、水筒の水を全て飲み干してしまった。お疲れ様でした。（松田雄二）

●やはり里山恐るべし

近年最大の大雪が全国レベルで二度にわたり降りました。2月の計画が中止になり3月に持ち越しでリベンジです。

金剛山の名前の山は依然にも登りましたがそれとは反対方向にも有り藤野の駅から右まわりコースを行くのですが駅前には藤野・名倉地区てくてくまっぷが有りそれを元に基本は進むのですが勿論草野リーダーの手元には2万5千分の1の地形図があって安心。このルート1周は8-9ヶ位ですが一般コースと健脚コースが有りますが我々は両方を網羅して金剛山頂上を目指しました。相変わらず私は登りになるとみんなに着いて行けず一足遅れです。休憩で頂くチョコレートやミカンが体を元気にしてくれてだんだん山に体が慣れて行くのを感じながらまた登りを頑張りました。この日は気温がどんどん上がり18度にもなり陽だまりでは21度にもなった。春の陽気を感じたり足元はまだまだ解けない雪に足元があぶない所も有り大雪のつめあともそこそこにあった。

下山後すぐにあちこちと体が痛くて、電車を待つ時も痛みは明日出るのか明後日出るのかとしゃべりはとまらずでした。

（和田悦子）

●藤野四山駆け巡り

今回の藤野四山駆け巡りは、二ツの山脈の縦走コースでした。最初の山脈は京塚山(350m)と、一本松山(337m)で、1時間半程の比較的楽なコースででした。一旦遊歩道に降って20分ほど平坦道を歩くと、次の山脈の金剛山(491m)の登山口があり、そこからかなりの急登で40～50分で山頂に。

山頂からは丹沢の蛭ヶ岳(1673m)や檜洞丸(1600m)と思われる高山が遠望できる。山頂で昼食後、尾根道を降り登りを繰り返し天神峠に降って、峠から急

登で高倉山（379m）に。山頂にて地元で造られた「山ノ目」を見て、更に降り登りを繰り返し見晴台に、そこから急な丸太の階段がかなり長く続き、秋山川沿いにでる。そこから川沿いは山道が川に崩れて行けないようで、秋山川橋を渡って対岸を登ることにした。然し、ここから上部の県道までの急登、ここが一番キツイ・キツイ登り、登りだから樹木や草につかまり、三点支持で十分以上かけて登る。登りだから何とか登れたが、とても降る場合は難しい急な道であった。

県道に出てから藤野駅まで 2km 以上の舗装道を歩く。

金剛山よりの尾根歩き（約 2 時間）も、かなりキツカッタですが、県道の舗装道歩きが、一番疲れました。

（田村 清）

●杓子山に再挑戦しました

平成 15 年 3 月山ゆりで高座山から杓子山に行く予定で 大椎首峠まで行きましたが、天候が悪く杓子山頂から富士山は見られないとのことで下山しました。

3 月 29 日朝の富士急車内で三つ峠から続く稜線の先に本社ケ丸と富士山が見え、今日は期待できると心はずませ富士山駅から忍野役場までバスで行き鳥居地峠からの急坂を登りました。

前回はストックを使い必死に登ったことを覚えています。

高座山で富士山、南アルプスを見て大椎首峠まで急降下、杓子山へは緩やかな登りをジグザグに進みましたが、高座山ではなんでもなかった登りがきつく最後はストックに助けてもらい山頂直下のロープを伝いやっと山頂に着きました

残念ながら富士山に薄く雲がかかってきてしまいました。向原峠方面にはまだ多くの雪が残っていて、不動の湯までの日のあつたている林道にも雪がかなり残っていました。

1 時間以上車道を歩きやっと下吉田駅に着きました。4 時間半位の行程でしたが久しぶりに翌日のダメージが大きかったです。でも富士山を眺められる山行は最高です。（曾根弘子）

■秦野の里山が危機

渋沢丘陵・八国見山（やくみに）319m の南麓に巨大霊園計画に県森林審議会が開発許可を知事に答申



現在、秦野市渋沢の八国見山南面の中村川源流地域において、24 ヘクタール東京ドーム 4～5 個分、15000 区画もの巨大霊園を建設するという計画が進みつつある。

建設が予定されている渋沢・峠地区の巨大霊園建設計画地には絶滅危惧種のオオタカやノスリが、準絶滅危惧種の国蝶オオムラサキやゲンジボタルが生息する。林内はキンランなども咲く県内でも残り少ない貴重な里山で、環境省によって「里地里山保全再生モデル地域」（全国 4 か所の 1 つ）に選定されています。又、県の地域環境評価書で「地形、水系、緑を一体として保全する必要がある」と判

定され、秦野市の緑の基本計画では「渋沢地区保全配慮地区」に指定されている。

県森林審議会は「開発後は貴重な動植物の生育環境を保全するなど、生物多様性の復元に最大限配慮する」など2項

目の付帯条件を付けて開発の許可を黒岩祐治知事に答申した。

審議会の付帯条件が、この自然を守る歯止めになる保証など全くない。

■ 5月山行案内 5月25日(日) 丹沢クリーンハイク

★

新緑のくぬぎ山を目指します。

- ・集合：小田急線 新松田駅 朝8時15分 8:25の寄行きに乗車
- ・持ち物：昼食弁当、雨具、小雨決行

■ 6月山行案内 6月15日(日) 瀬上沢一大丸山一鎌倉(瑞泉寺)

★

多くの市民の反対によりいったん中止になった東急の上郷(瀬上)開発がまたぞろ復活、その中心地を見て、横浜市最高峰の大丸山 156mを経て、鎌倉に抜ける軽いコース。

- ・集合：JR根岸線 港南台駅 9時
- ・持ち物：昼食弁当、雨具ほか、

■ 例会の予定

- ・5月20日(火)：5月例会
- ・6月17日(火)：6月例会

あとがき ・消費増税が実施された。増税分は社会保障費に充てられるという政府宣伝がNHKをはじめとする大手メディアや政府発行パンフレットで大々的にされた。3%の増税で6兆円の増収になるという。政府宣伝だと6兆円分社会保障費が増えるように思えるが、今までの財源に代わるだけで、決して増えはしない。さらに大問題なのは社会保障が充実するのではなく、逆にますます削られるという事実である。過去を見れば、年金支給が60歳から65歳に、医療費の窓口負担が1割から3割に、今またこの増税のタイミングに合わせて70歳から実施されている1割負担が2割に――。などなど全く大義なき増税である。・医療介護総合法案がいよいよ審議入り、「病床再編計画」により入院患者43万人の病院追い出し、要支援1～2級160万人の支援取り上げ、要介護1～2級の特養ホーム待機者の資格排除など安倍政権がもくろんでいる悪法の成立を許すな。である。・東日本大震災の復興のために設けられた

復興特別税、このうちの法人税分が早くも廃止された。我々個人からは今後10年以上も継続徴収するという。これも安倍政権の大企業への情けか。・安倍政権は「放置すれば日本が侵攻される場合」に「限定」して集団的自衛権を容認しようと、あの手この手で憲法解釈の変更を画策している。狙いは、他国への武力行使を可能とするもので、具体的にはアメリカと共同で他国との戦争を可能とするもので、どうしてそんなに戦争したがるの。・政府は原発を重要なベースロード電源と原発を恒久化するエネルギー基本計画を閣議決定、原子力規制委員会の審査をパスした原発の再稼働を進めるとするなど、審査に合格した原発は安全とする新たな「安全神話」を作り出そうとしている。技術的にも破綻した「核燃サイクル」や「原発輸出」など、東電福島原発大事故以降の国民世論である「原発に依存しない社会」に背を向け国民を危険に晒そうとしている。・武器輸出解禁を閣議決定、歴代政府の「武器輸出三原則」を踏みこむもの。うーんもうーん。

・難民の溢るる憲法記念の日 【K】